

## 高病原性鳥インフルエンザに伴う出水市における野鳥検査・回収状況について

1. 高病原性鳥インフルエンザ発生（H5N8亜型）に伴い、野鳥監視重点区域（死亡個体等回収地点より周囲半径10km圏内）において、出水市、鹿児島県、九州地方環境事務所共同で毎日の巡回監視により、死亡個体の回収及び衰弱個体の保護を実施。

巡回監視実施期間：平成26年11月28日～平成27年3月30日【123日間】

（高病原性鳥インフルエンザウイルスが確認された最後の回収日から45日間）

### 2. 死亡野鳥等の回収結果

期間中に回収された野鳥（衰弱・死亡個体）：352羽

遺伝子検査結果で高病原性鳥インフルエンザが検出されたもの：7羽（マナヅル1羽、ナベヅル4羽、マガモ2羽）

ねぐらの水より遺伝子検査結果で検出された検体数：1例

No.	場所	種名	回収日	簡易検査	遺伝子検査	確定検査
1	東干拓	マナヅル	11/23	陰性 11/23	陽性 11/27	11/29 高病原性
2	荒崎	ねぐら水	12/1	—	陽性 12/5	12/6 高病原性
3	荒崎	ナベヅル	12/7	陰性 12/7	陽性 12/7	12/10 高病原性
4	荒崎	ナベヅル	12/17	陰性 12/17	陽性 12/17	12/19 高病原性
5	荒崎	ナベヅル	12/24	陽性 12/24	—	12/30 高病原性
6	荒崎	ナベヅル	1/3	陰性 1/3	陽性 1/4	1/7 高病原性
7	荒崎	マガモ	1/14	陽性 1/14	陽性 1/14	1/19 高病原性
8	東干拓	マガモ	2/13	陰性 2/13	陽性 2/13	2/17 高病原性